

多様な広葉樹林の育成・管理技術の開発

福島県林業研究センター森林環境部
平成15年福島県林業研究センター研究報告

1 部門名

林業－環境保全－施業方法
分類コード 18-12-11000000

2 担当者

今井辰雄・渡邊 治

3 要旨

20年程度施業が放置された落葉広葉樹林において、胸高断面積合計で100%、70%、50%及び30%に伐採した区と対照(無施業)区の計5区を、平衡斜面、凸型及び凹型斜面にそれぞれ設定し、土砂受け箱による落葉落枝・石礫及び土砂等を3月、6月、9月及び12月の3ヶ月毎に回収したほか、林床被覆度調査による落葉落枝及び植生等の被覆率を毎月調査し、山地災害防止機能を維持向上させるための伐採率を検討した。

調査区では、落葉落枝及び土砂等の総量は、3月、6月及び12月回収時に多く、種類では落葉落枝量が多かった。土砂の量は、降水量に比例し9月回収時に多かったが、70%伐採区の平衡斜面及び凸型斜面では、特に一年を通し多い傾向となり、今回の調査では100%伐採区からの土砂流出量が必ずしも他の伐採区より多い結果とはならなかった。

林床被覆度調査は、伐採直後は落葉落枝による被覆が多くを占めたが、時間の経過とともに、伐採率にほぼ比例して植生率が高まる傾向を示した。

4 その他の資料等

平成11～15年度福島県林業試験場・福島県林業研究センター業務報告第32～35号